

「家庭総合」	単位数	2単位
	学科・学年・学級	海洋科学科 第1学年A～C

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 人の一生と家族・福祉、消費生活、衣食住、家庭生活と技術革新などに関する知識と技術を体験的に習得する。 2 生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的態度を身につける。
使用教科書・副教材等	家庭総合 パートナーシップでつくる未来

2 学習計画及び評価方法

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項、他教科総合的な学習の時間・協働活動等との関連など)			
1 学期	「家庭総合」の学習について 1編 人とかかわって生きる 1章 自分らしい生き方と家族 2章 子どもとかかわる 3章 高齢者とかかわる 4章 社会とかかわる ★ホームプロジェクトの実施	4	「家庭総合」学習の意義や内容、学習や評価の方法を理解する。 生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解する。 青年期の課題である自立や男女の平等を相互の協力について認識する。 家庭の機能と家族関係、学校・家庭と法律、福祉などについて認識する。 家族・家庭の意義、家族・家庭と社会のかかわり、男女が協力して家庭を築くことの重要性について認識する。	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの関連 ・保育おもちゃづくり ・レポート作成			
		5	青年期の課題を踏まえ、生活設計の立案を通して、自己の生き方や将来の家庭生活と職学生活のあり方について考える。				
		6	乳幼児の心身の発達と生活・親の役割と保育及び福祉について理解する。 子供を産み育てることの意義を考え、子どもの健全な発達のために親や家族及び社会の発達役割が重要であることを認識する				
		7	高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解する。介護の基礎を体験的に学ぶことを通して、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について認識する。				
		8	ホームプロジェクトの実施				
		【課題・提出物等】 1 授業中使用プリント(10枚程度)の提出 2 6月に「私の生活設計」のレポートを提出します 3 7月期末考査終了時までにはホームプロジェクトのタイトルと事前計画をレポート用紙にまとめて提出する					
		【第1学期の評価方法】 1 期末考査の成績、授業中に使ったプリント、レポートの提出物の内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加態度などで評価します。 2 学期全体の評価は、期末考査の成績60%、提出物30%、発表の仕方や内容、学習活動への参加態度10%の配分で行う。					
		2 学期	★ホームプロジェクトの実施 2編 生活をつくる 2章 衣生活をつくる		9	ホームプロジェクトの発表 日常の衣生活に必要な被服の機能と着装、被服の構成と製作、衣生活の管理に関する知識と技術を身につける	・作品の提出 ・作品の評価 ・製作記録の提出
					10	充実したい生活を営むことができるように理解する	
					11	被服製作に必要な道具について理解する ミシン・ロックミシンの扱い方、基本的な技術を身につける	
12	エプロン製作を通して、並縫い・ボタン付け・アイロンかけができる						
【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリント(5枚程度)を提出する 2 夏休みの宿題のレポートを提出する 3 エプロン・三角巾・袋の作品を提出する							
【第1学期の評価方法】 1 期末考査の成績、授業中に使ったプリント、レポートの提出物の内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加態度などで評価します。 2 学期全体の評価は、期末考査の成績50%、提出物40%、発表の仕方や内容、学習活動への参加態度10%の配分で行う。							

3 学 期	3編 消費者として自立する 1章 消費行動を考える	1	家庭経済や消費生活に関する基本的な知識を身につける 現代の消費生活の課題について認識し、消費者として責任を持って行動できるようにする	
		2	家庭の経済生活、社会の変化と消費生活及び消費者の権利と責任について理解する。	
		3	消費者として主体的に判断できるように学習する 現代の消費生活と環境のかかわりについて理解し、環境負荷の少ない生活を目指して生活意識や生活様式を見直すことができることを認識する	
【課題・提出物等】				
1 授業の中で使用するプリント(5枚程度)を提出する 2 クレジット演習と消費者金融への返済の計算をレポートにして提出する				
【第1学期の評価方法】				
1 期末考査の成績、授業中に使ったプリント、レポートの提出物の内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加態度などで評価します。 2 学期全体の評価は、期末考査の成績70%、提出物20%、発表の仕方や内容、学習活動への参加態度10%の配分で行う。				
【年間の学習状況の評価方法】				
1学期・2学期・3学期の成績を平均化したものに、1年間の学習状況を総合的に判断し、年間の学習成績とします。				
確かな学力を身に付けるための アドバイス		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項や課題の内容を暗記するのではなく、生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していくような姿勢が大切です。 ・ニュースや新聞に目を通し、家族や家庭を取り巻く社会情勢の変化に気付きましょう。より多くの情報を集めるように努力しましょう。 ・プリントや資料はファイルに整理しましょう。そのときに新聞の関連記事に気付いたこと、メモも一緒にいれて自分の考えを整理するのに役立てましょう。 ・体験して学習することには積極的に参加し、級友の意見を聞いているだけでなく自分の意見も発表できるような姿勢で授業に臨みましょう。 		
授業を受けるに当たって 守ってほしい事項		<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をしないで下さい。 ・教科書、学習ノート、筆記用具は毎回必ず持ってきて下さい。 ・授業中にやむを得ず席を離れるときは必ず申し出て下さい。 ・無駄私語や居眠りをすると評価にも影響します。 ・レポート、作品等は必ず期日までに提出して下さい。 		

(2)評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組んでいる。 ・実践的な態度を身につけている。 	関心・意欲・態度
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域の生活について見直し、課題を見つけられる。 ・課題の解決を目指して思考を深め、適切に断し工夫し創造する能力を身につけている。 	思考・判断・表現
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。 	技能
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。 	知識・理解

3 担当者からのメッセージ

- ・講義、被服実習、疑似体験、グループ学習様々な学習形態を通して、より深い理解と関心を高めたいと思います。
- ・家庭科の学習を通して様々な文化や考え方生き方に接し、より柔軟で視野の広い考えを身に付け、充実した人生を歩めることを期待しています。また、多くの実習はできませんが、少しでも多くの技術を身に付け、生活に生かして行くことができたらと思います。